

「平成27年度 わくわく交流会」

みんなで考え みんなで交流 ～活動成果を上げるために みんなでできること～

まとめ

- 1 日時 平成28年2月13日（土）午前9時30分～
- 2 会場 安城市民交流センター2階 多目的ホール
- 3 内容 57名の市民、市民活動団体の方に参加いただき開催しました。
【第1部】：市民活動補助金を活用して、安城の様々な課題に取り組んだ8団体の事業の成果発表を行いました。
【第2部】：ファシリテーターとして市民協働サポータークラブ会長の小森義史氏をお招きして、参加者全員で市民活動について話し合いました。

■第1部 各団体の成果報告へのコメント ～ファシリテーター・参加者の声～

1.日本将棋連盟安城支部 （安城七夕ふれあい将棋大会）

- ・継続活動が、成果に現れている。
- ・将棋以外のグループとの協働があればもっと輪が広がるのではないかな。

2.精神保健福祉ボランティア サークル「輪々」 （こころ元気に♡ 「音楽と講演」）

- ・非常に難しい課題で、多くの対象者をどう絞っていくかを考えることも必要である。
- ・うつ病、引きこもり、ニートなど、本人の癒しの場を与えることも大切であるが、ご家族の癒しの場も必要である。

3.Anjoきらめきた～い （安城ご当地体操でパパもママもプラス10「広げよう健康と地域愛」）

- ・健幸都市安城ということで、今後ニーズが高まっていくと思う。
- ・参加者だけではなく、団体のスタッフを増やすことによって活動が広がるのではないかな。

4.グリーンそう （巨樹・名木めぐり）

- ・団体のメンバー誰でも出来るようにグリーンそう代表のノウハウを横展開していただきたい。
- ・自然環境が守られ、自然に親しめる素敵な活動であり、ぜひ団体として継続していくような仕組みを検討してほしい。

5. JKハーモニー (家族で楽しむコンサート)

- ・演奏する人、演奏を聞きたい人、そしてその2つをつなぐ人材が必要である。
- ・演奏依頼を増やすために、団体の活動を一層啓発してほしい。

6. 健康教室まつけん (健康教室まつけん)

- ・市民活動をする上では、なるべく専門的用語ではなく、誰でも分かる言葉で説明した方が人に伝わりやすい。
- ・高齢社会において、今後ますます必要になる活動であり、高齢者の中でリーダー的な存在を育成するような取組も必要である。

7. 安城地域リハビリネットワーク (リハビリ専門職がプロデュース salon あんちゃん)

- ・全国的にニーズが高い活動であることから、外からの協力も加わり、より大きな活動につながっている。
- ・地域で町内体操をしているリーダーへの研修を企画したいと思っていることから、協力して実施していきたい。

8. 特定非営利活動法人 ing (高齢者お出かけ見守り隊養成講座)

- ・団体としての目的、やるべきことが明確であり、他団体の参考になる。
- ・今後の事業展開が決まっていることや、社会福祉協議会との協働ができており、良かった。

発表団体

次年度、市民活動補助金を活用する団体へのアドバイス

- ・分からないことがあれば自団体だけで判断せず、市民交流センターや市民協働課などへ相談をすることも必要である。
- ・チラシなどの印刷作業をインターネットで発注すると印刷費が大幅に抑えられたので、活用されると良い。
- ・単独で事業をするだけでなく、横のつながりを大切にし、違う団体とも協力し合いながら活動することで、より良い成果を得ることができる。
- ・熱い思いを実現するためには、自分たちの団体には何が不足しているのか、誰の力を借りれば実現できるのかを考えることが必要である。

■第2部 みんなで考え、みんなで交流

ファシリテーター小森義史氏に進行役をお願いして、下記テーマについてワークショップ形式で9グループによる話し合いをしました。

また、市民協働サポータークラブ※のメンバーにテーブルファシリテーターとして各テーブルに入っていました。

※市民協働サポータークラブ：
市民として行政と事業者と市民団体間の
協働をコーディネートする中間支援団体

テーマ：活動成果を上げるために、みんなでできること

グループごとに、2つの視点で話し合いました。

【話し合い1】

発表内容を聴いて、発表団体の良い点（学ぶべき点）を参考にしながら自団体の改善点（不足している点）を抽出

【話し合い2】

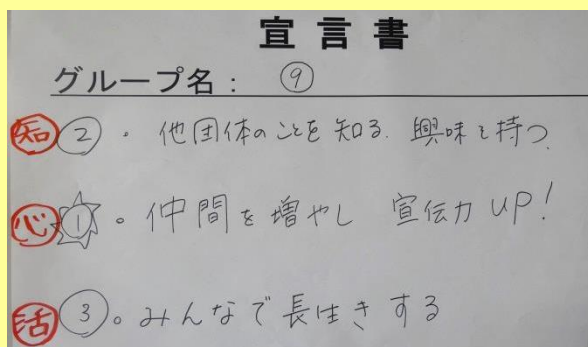
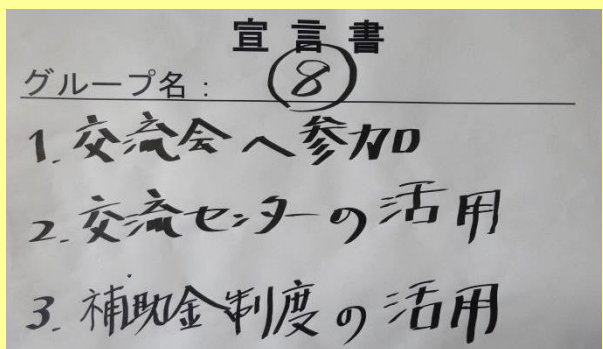
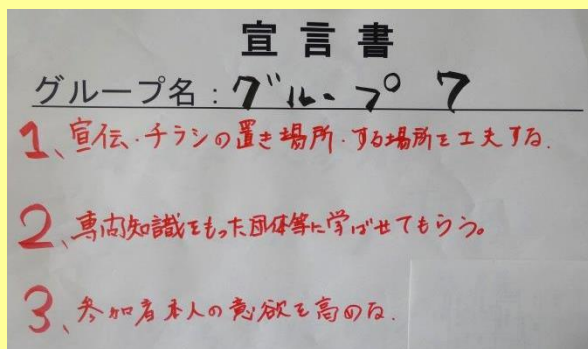
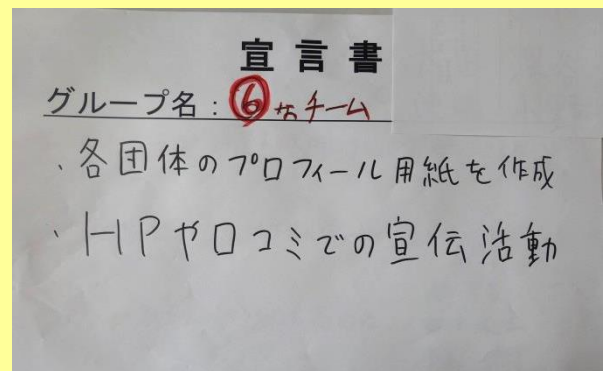
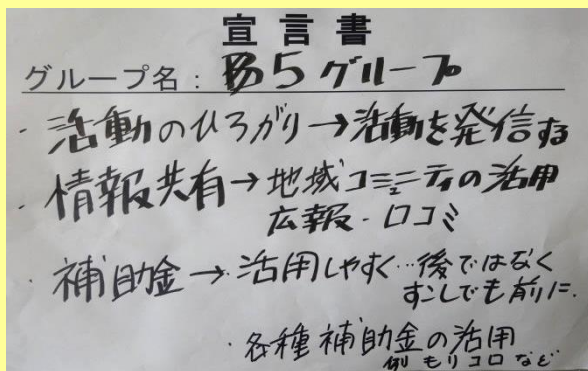
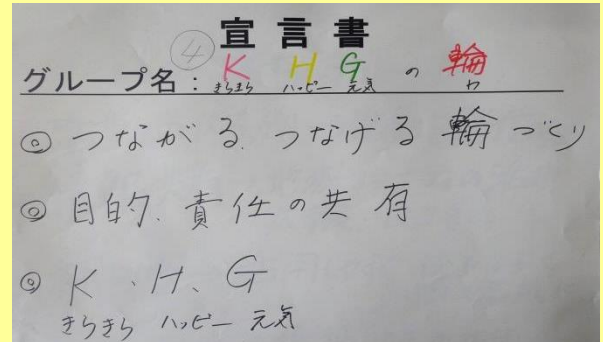
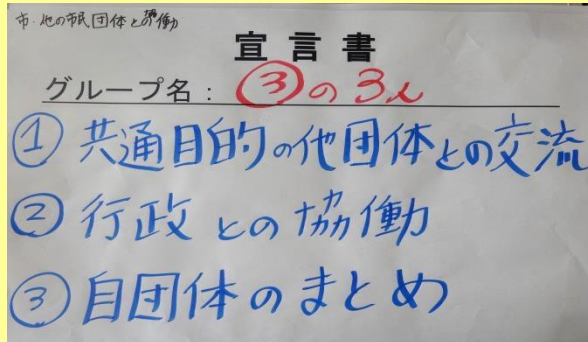
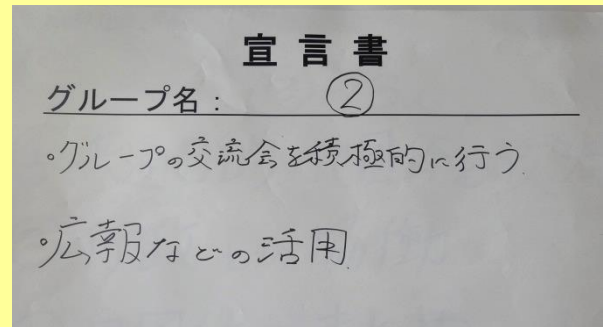
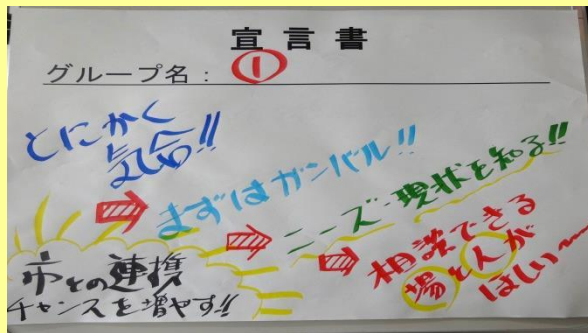
活動を活性化し、成果を出すために、みんなで（登録団体で）したいこと、できることの宣言

《次項で各グループが出した宣言書を紹介しています！》

【グループワークの様子】



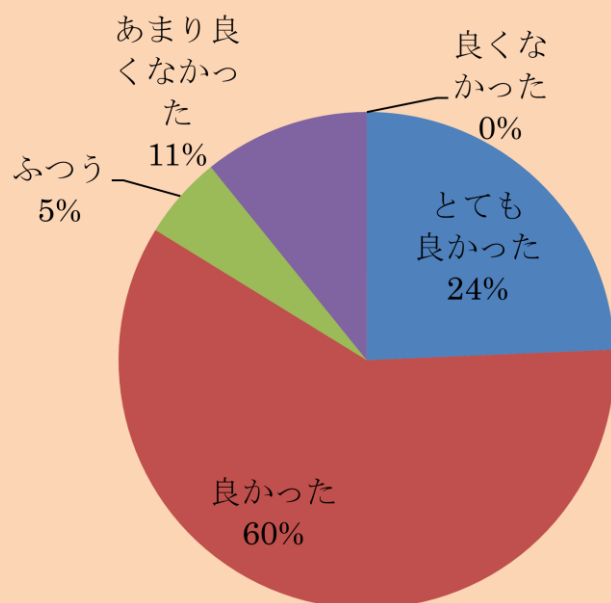
各グループの宣言書



「活動を活性化し、成果を出すために
みんなでしたいこと、できること」に
ついて、各グループで出た意見の中
から上位3つを選び、「宣言書」を作
りました!

■ アンケート結果

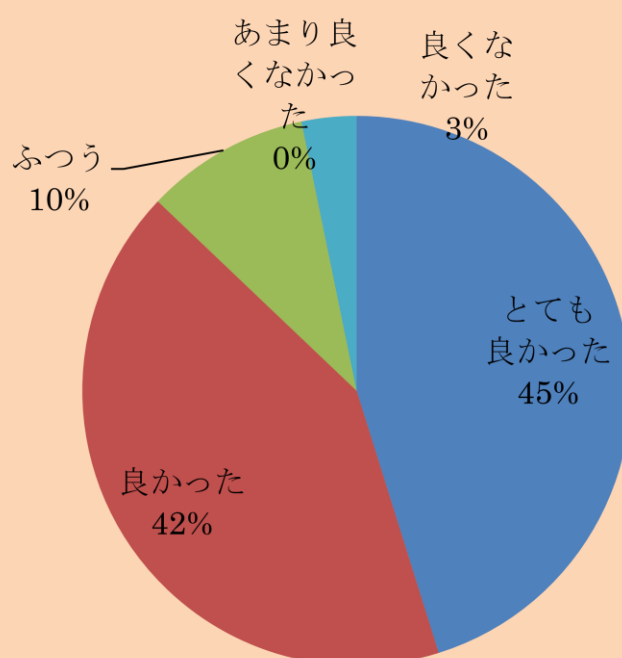
1 （前半）各団体の事業発表はいかがでしたか。



《主な意見》

- ・発表時間が5分では短かった。
- ・素晴らしい内容の発表が多くあり、安城の力を見た。
- ・活動を継続させるための問題点があまり発表されていない。
- ・それぞれの団体がしっかりと活動していることが分かった。
- ・8団体の実践報告を聞き、市と諸団体の協働による活動の必要性や教訓を学ぶことができた。

2 （後半）交流会でのワークショップはいかがでしたか



《主な意見》

- ・協働相手を探すことができた。
- ・他団体とのディスカッションは楽しく、有意義であった。
- ・情報交換できる時間を設けてほしいかった。
- ・他団体や市民の方々の意見を聞けて楽しかった。
- ・サポーターの進め方がとてもすばらしく、短時間で意見がまとめられた。